

## 落札候補者決定基準

大阪府流域下水道事業における官民連携事業に係る落札候補者決定基準を次に定める。

### 1. 総合評価に関する事項

#### (1) 落札方式

この入札は、入札参加者の「入札価格（予定価格等の制限の範囲内であるものに限る。）」と「企業の技術力」を(2)の総合評価の方法により算出した数値（以下「総合評価点」という。）により落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用するものである。

※ 予定価格等の制限の範囲内であるものとは、入札額総額が予定価格以下であり、かつ運転管理ほか業務費が運転管理ほか業務費上限額以下であるものをいう。

#### (2) 総合評価の方法

##### ア. 総合評価点

1) 総合評価点は、次の計算式により算定する。

総合評価点＝技術点＋価格点

2) 技術点及び価格点は、イ. ウ. により算定する。

##### イ. 技術点

1) 技術点は、次の計算式により算定する。なお、技術点は、小数点第1位以下を切り捨てるものとする。なお技術提案書の詳細な評価方法は「技術提案書作成要領」による。

技術点＝500×（当該獲得素点<sup>※1</sup>／最高獲得素点<sup>※2</sup>）

※1 素点は次の計算式により算定する。ただし、一部重み設定の無い評価項目については、評価基準に定める算定式により算定する。

素点＝Σ（各評価項目の評価指標に基づく獲得点×重み）

・ 評価指標…5, 4, 3, 2, 0点の5段階評価

・ 重み…業務に与える影響度に応じて1, 2, 3倍

※2 最高獲得素点とは、入札参加者が獲得した素点のうち最も高いものをいう。

2) 技術点は、技術提案書の内容について評価して付与する点数で、500点を限度とする。

##### ウ. 価格点

1) 価格点は、次の計算式により算定する。なお、価格点は、小数点第1位以下を切り捨てるものとする。

価格点＝500×（最低入札価格<sup>※3</sup>／当該入札価格）

※3 最低入札価格とは、入札参加者が提出した入札書のうち最も低いものをいう。

2) 価格点は500点を限度とする。

### 2. 落札候補者決定基準

ア. 予定価格等の制限の範囲内で入札書を提出した者で、総合評価点の最も高い者を落札候補者とする。

- イ. 総合評価点の最も高い者が同点で2者以上である場合は、そのうち最も低い価格で入札書を提出した者を落札候補者とする。ただし、その最も低い価格についても、同額で入札書を提出した者が2者以上である場合は、入札書に記入した「くじ番号」に従い、別紙くじの方法により落札候補者を決定するものとする。

## 別紙 くじの方法

開札の結果、落札となるべき最低の価格での入札をした者が2者以上あり、落札候補者の順位を決定できない場合は、「くじ」によりその順位を決定する。

### 1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

入札者は、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄にあらかじめ任意の3桁の値（000～999）を記入すること。

なお、正しく記入がなされていない場合は、「000」の数値が記載されたものとみなす。

### 2 くじの手順

- (1) 入札参加申請をした順（入札参加申込書を受理した日時順）に「0, 1, 2, ……」と番号を割り当てる。なお、入札参加申込書を持参した者は、南部流域下水道事務所総務課において受付した順とし、郵便による参加申し込みの場合は、持参した者が存在するときはその後順位とし、郵便申込者同士は、申込書到着順となる。
- (2) 同額入札の入札書に記載されたくじの数を合算し、その合計額を同入札書の数で除算し、余りを算出する。
- (3) 上記(2)の計算結果による余りと一致した上記(1)の番号の入札参加者を最上位（落札候補者）とする。
- (4) 最上位の番号に1を足した番号の入札参加者を2順位とする。  
この場合において、最上位の番号に1を足した番号が存在しない場合には、0の番号の入札参加者を2順位とする。
- (5) 2順位の番号に1を足した番号の入札参加者を3順位とする。この場合において、2順位の番号に1を足した番号が存在しない場合には、0の番号の入札参加者を3順位とする。
- (6) 4順位以下は(5)の規定に準じて順位を決定する

#### (例) 入札参加者中、3名が同額入札の場合

- (1) 入札参加申請をした順番に番号を付与する。

A社…………… 番号0

B社…………… 番号1

C社…………… 番号2

- (2) くじ番号の数の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算定する。

A社…………… (くじ番号072)

B社…………… (くじ番号123)

C社…………… (くじ番号452)

合計 (072 + 123 + 452 = 647)

余り (647 ÷ 3 = 215…余り2)

- (3) 順位の決定

最上位（落札候補者）は、余りの2と一致する番号であるC社

2順位は、2 + 1 = 3の番号が存在しないので、番号0のA社

3順位は、0 + 1 = 1と一致する番号であるB社